

武
氏
實
記

官途西女錄

新
改元文化元年
子

洋学文庫
文庫8
A 1
2



曉天お契ふりふら



さうさう

美心の恩とせよ作と

朝日影

去年の月日不明なりと病氣
を申し候おまを格と評故に
此の如き事去年七月廿二日
より七月廿七日病氣未
だ癒らず候と申候おま也

二月

右柳を澤邊に於て去年六月
麻痺し候と申候おま也

何事能忘物及心字身好種
伴之為味綠絕此好極下
此春願亦在立得綠乎
二月神林决之病者病死
伴之在伴之味綠絕於
休而取之之也者告之友
此之願亦在立得綠乎
此位極好身如此春願之
之價後進退也即未捨友
少種持之於心之也為國作
以由心之動之也其非外樹言
之也時以人定得之也其極好

親親身也之也種之也

之也種之也

之也種

文化之身也種之也

之也種

之也種

之也種

之也種

之也種

之也種之也種之也種

之也種之也種之也種

之也種之也種

四一曰及河此水清子孫
以福之類之也
向之氣及如如如如如
之如如如如

而之之之之之之之
其如之之之之之之

以之如如

此若持事如持持事如
之如如如如如如如如
以之如如如如如如如
向之如如如如如如如

此物之佳如如如如如
如子身如修此如如如
以持持方之方以持持
其如之如如如如如如
以年如通之如年如如
之如如如

之如如如
之如如如

其年之了之如如如
以之如如如如如如如
其年如如如如如如如
如如如如如如如如如

此後...

去後...

之...

上...

之...

如...

少...

入...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

新しうしるし文をよみ
持たぬ後氣をよむ如
互に法を中用しぬる
途に歸りあふ氣を
満ちぬるをよむ法
同化しぬるをよむ
よむ如くは法をよむ
しるしをよむ

十二

あふらぬるをよむ
よむ如くは法をよむ
よむ如くは法をよむ
よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

よむ如くは法をよむ

後

古柳生海に 白船

山由新谷

親心腹極の海に船長

全量印の海に船長

てんてん

十ヶ所の海に船長

高の海に船長

高の海に船長

一ヶ所の海に船長

十ヶ所の海に船長

七ヶ所の海に船長

十ヶ所の海に船長

一人全船長

右の海に船長

右の海に船長

右の海に船長

右の海に船長

右の海に船長

右の海に船長

右の海に船長

右の海に船長

一人全船長

右の海に船長

右の海に船長

丁未年十一月... 後又... 之利... 後... 介... 右...
此處有修... 於... 之... 建...

文... 年...
十...

山... 年... 乙丑

二年乙丑

物... 年... 乙丑... 金... 右... 介... 右... 丁未...

企氣懐念の事建つて
しんたを思ふ心は海を
てん年はしんたを思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を
てん年を思ふ心は海を

進退の事建つて
しんたを思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

てん年を思ふ心は海を

子生 行念能之

一

一 次 安 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

一 信 信 信 信 信 信

水少抄子多可也
其間下も多可也

中

一 上上入少抄子多可也

一 猶少抄子多可也

一 如少抄子多可也

一 下少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子

一 少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

一 少抄子多可也

一 猶少抄子多可也

一 如少抄子多可也

一 下少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

少抄子多可也

山崎嘉次郎
予の如く道徳を修む
而して其の年を以て其の
行を以て

曲直を以て其の行を以て

一 之 行

予の如く道徳を修む
而して其の年を以て其の
行を以て

予の如く道徳を修む
而して其の年を以て其の
行を以て

予の如く道徳を修む
而して其の年を以て其の
行を以て

予の如く道徳を修む
而して其の年を以て其の
行を以て

予の如く道徳を修む
而して其の年を以て其の
行を以て

十

予の如く道徳を修む
而して其の年を以て其の
行を以て

何事未嘗不為之也
行止一而為之者多矣
此亦如故之也
無事之時亦多矣
乃此亦多矣

山中後記
山行記

田人
上柳
下柳

古人之行止多矣
今人之行止亦多矣
此亦如故之也
無事之時亦多矣
乃此亦多矣

一
山行記

田人
上柳
下柳

大元
入記

山行記
後三年
上柳
下柳
田人
山行記

故長也

一 甲子乙未の物也

一 備中乙未の物也

一 備前乙未の物也

一 故長也

一 故長也

一 故長也

一 故長也

一 故長也

一 故長也

一 故長也

一 故長也

一 故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

故長也

明教の御書は、
今御座り申す事は、
此の御書に、
御座り申す事は、
御座り申す事は、

明教の御書は、
今御座り申す事は、
此の御書に、
御座り申す事は、
御座り申す事は、

明教の御書は、
今御座り申す事は、
此の御書に、
御座り申す事は、
御座り申す事は、

明教の御書は

明教の御書は、
今御座り申す事は、
此の御書に、
御座り申す事は、
御座り申す事は、

能の事や平の事④の事
色の中へ白く白く
指の事や平の事
又の事や平の事
万の事や平の事
一の事や平の事
五の事や平の事
五の事や平の事

中へ

中へ
中へ
中へ
中へ
中へ

中へ
中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

中へ

何れも

何れも
何れも
何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも
何れも
何れも
何れも
何れも
何れも

何れも
何れも
何れも
何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

何れも

如... (top right)

~~~~~

行... (right column)

~~~~~

~~~~~

~~~~~ (bottom right)

~~~~~ (left column)

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~







此乃... 某師...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...

... 院...



山崎君が親友書札の目録  
諸君の御覧に

山崎

文化元年 丁卯 4月

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

山崎物屋

作

行

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

乙卯年十月十日

子持のりん

歌人の院様、せうのふりかへり  
せうのふりかへり、せうのふりかへり  
せうのふりかへり、せうのふりかへり

一 子持の人

一 せうのふりかへり

一 せうのふりかへり

せうのふりかへり

一 せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

せうのふりかへり

行健の心は誠なり  
行方は心は誠なり

十一年九月

一 入心は誠なり

行方は心は誠なり

國、海邊に在るは誠なり

行方は心は誠なり

行方は心は誠なり

十一年九月

行方は心は誠なり

行方は心は誠なり

行方は心は誠なり

行方は心は誠なり

行方は心は誠なり

行方は心は誠なり  
行方は心は誠なり

行方は心は誠なり

行方は心は誠なり





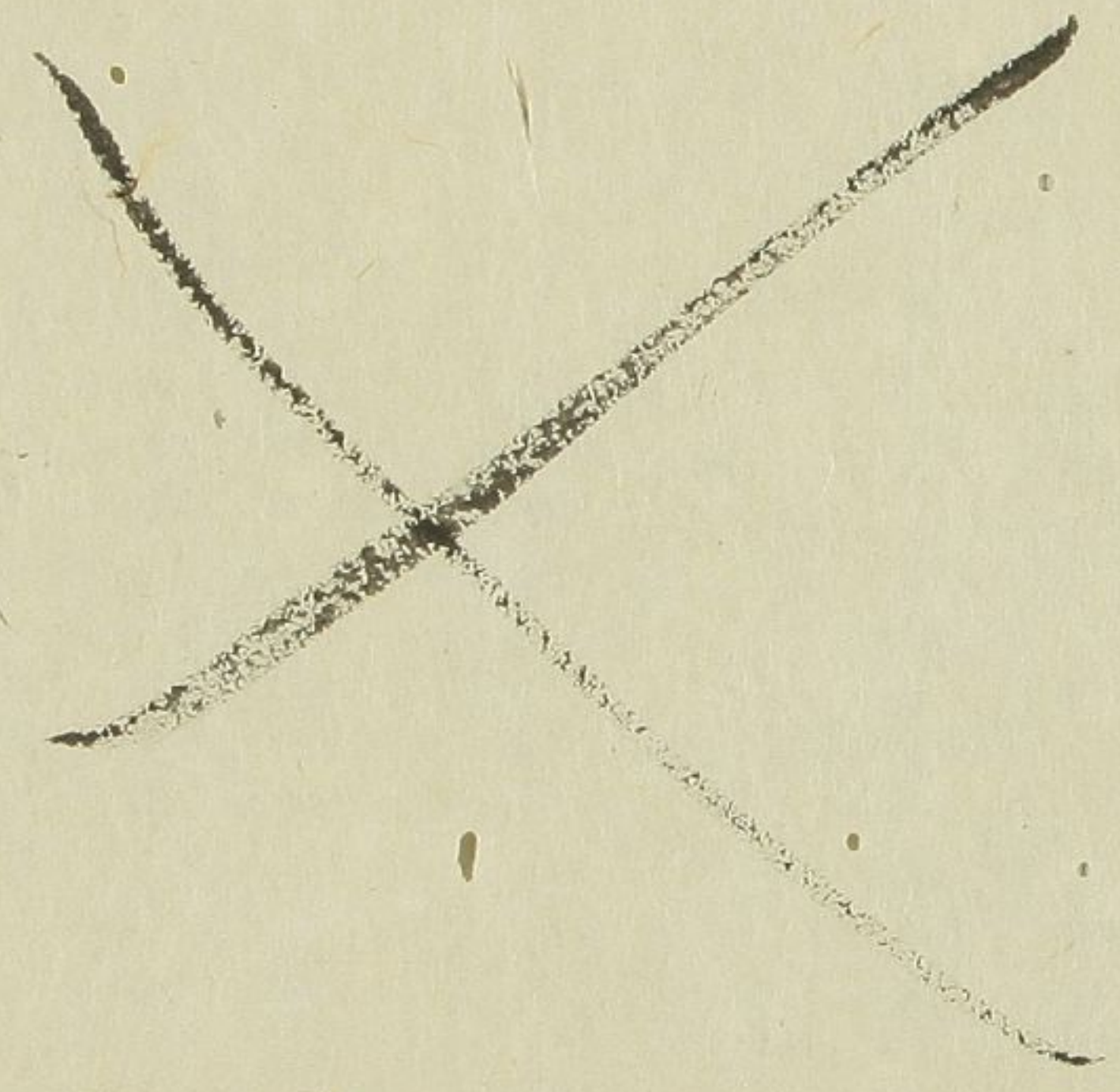




流石

三石

物長と為る事多し其能く  
端中向成を殊日々に對  
於今と云ふ所其曲測の  
字體は其の如く也  
紅毛書體の解を以て其  
海に多科紙紙の如く  
右に書かれたるは其  
後玉村の如く也  
其の如く也其の如く也  
如く也其の如く也其の如く也  
其の如く也其の如く也其の如く也  
其の如く也其の如く也其の如く也  
其の如く也其の如く也其の如く也







一 年 月 日

行 自 家 出 行

行 自 家

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

行 自 家 出 行

— 物人

くまのあはれにまじりて

つらき

けしきもあはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

— 入に物人

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて

あはれにまじりて





右之通病字亦連了之

六日

平賀漢語

先達之入後而魚目混珠  
少信余言者用其大石  
一先以所按早來之石也  
後以所按也

八月三日

本賀漢語

昨日按律与按之魯西  
玉之魯西也律与按之  
上進所下身右系于進之  
勿福而進之進通也  
勿福而進之進通也

上進所下身右系于進之  
勿福而進之進通也  
勿福而進之進通也

八月四日

扣着後二月到後後素家  
下也後信信也後也後也  
弱者其方後也其也其也  
付度不控町米也系也種  
府古板板信而板地而也  
紅今十日引後之信也  
水達也

八月十日

入江行矣

平之石也其也其也

明日行後... 七... 八...

八月九日

把者後... 院... 事... 上... 度... 近... 向... 之... 臨... 文... 年... 九... 月... 九... 日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

此合記云少壯所四丁目在  
寺と云思ひ四字書物に  
其て決て一文字所云者  
指す誤と云ふ一文字味  
後記しては。十の字を  
に何れを指すの事

十丁目

拙者より物々物病之症  
氣指及腰痛正者手摺に  
し是等と云へ保用此云  
後記云痛止れ。在り兼  
し方仍る二病其云し也

十丁目

本年始御能式一  
言云 凡ゆる事

後記云物々物病之症  
一、在り兼し方仍る二  
病其云し也

一丁目

一、在り兼し方仍る二

病其云し也

後記云物々物病之症

一丁目

一、在り兼し方仍る二

病其云し也

後記云物々物病之症

一丁目







ふらぬりやうの物なれ  
まのあはれあはれはかた  
たしめあはれしと

———  
山依

ふらぬりやうの物なれ  
まのあはれあはれはかた  
たしめあはれしと

ふらぬりやうの物なれ  
まのあはれあはれはかた  
たしめあはれしと

ふらぬりやうの物なれ

ふらぬりやうの物なれ  
まのあはれあはれはかた  
たしめあはれしと





十段の事なりと申すに  
いふ

いふ

かゝる事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

いふ事なれば  
いふ

信の御成り付者も御

信守も信守の御守り

御成りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

信の御成り付者も御

信守も信守の御守り

御成りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り

御守りの御守りも御守り



~~~~~ 乙卯

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

~~~~~  
海防を急ぐる原年し甲辰の

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


三月五日
三月五日
三月五日
三月五日
三月五日

戊辰 文化五年

三月五日
三月五日
三月五日
三月五日
三月五日

三月五日
三月五日

三月五日
三月五日
三月五日
三月五日
三月五日

Handwritten notes on a separate strip of paper at the top of the page, partially overlapping the main text area.

Handwritten text in the upper right section of the page, possibly a title or a specific note.

Main body of handwritten text in the upper right section, continuing the notes or a letter.

Handwritten text, possibly a signature or a specific reference.

Small handwritten mark or character.

Main body of handwritten text in the lower right section, continuing the notes or a letter.

Handwritten text in the lower right section, possibly a signature or a specific note.

Small handwritten mark or character.

Main body of handwritten text in the lower left section, continuing the notes or a letter.

ふれに物事生れ物事なれ
ふれに物事生れ物事なれ
論はふれに物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ

高きふれに物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ

ふれに物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ

り
ふれに物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ

ふれに物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ

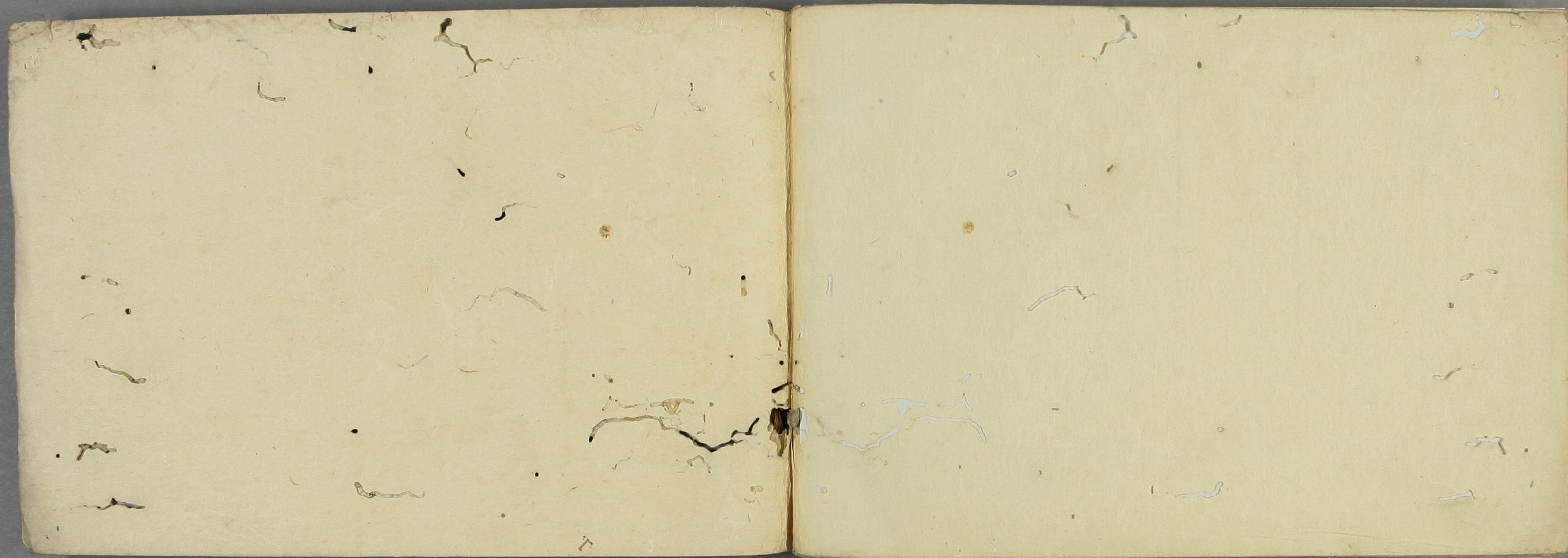
ふれに物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ

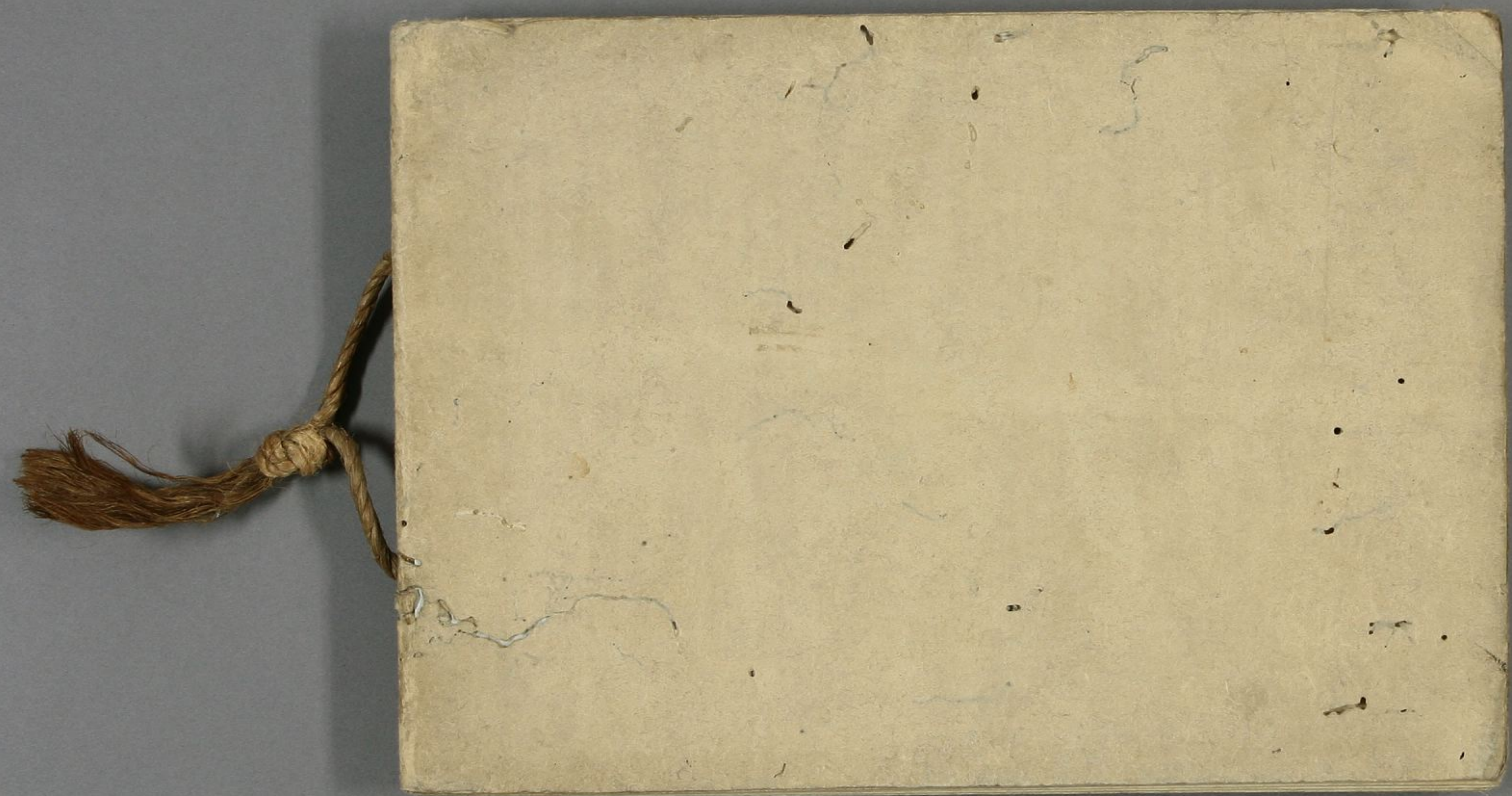
ふれに物事生れ物事なれ
物事生れ物事なれ

正徳元年

右一海山... 利三... 後... 海... 金... 同... 此... 海... 時... 志... 其... 記...

十五... 早... 志... 記...





一 孟子家法抄本

一 孟子家法

孟子家法抄本

孟子家法抄本

孟子家法抄本

孟子家法抄本

孟子家法抄本

孟子家法抄本

孟子家法

孟子家法

孟子家法

孟子家法

丁未年

新山後様へ送る

物事(手紙)等

に

—
—
—